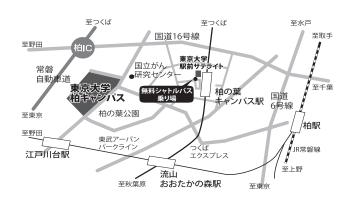
## アクセス

キャンパス内の駐車場はご利用になれません。公共交通機関でお出かけください。

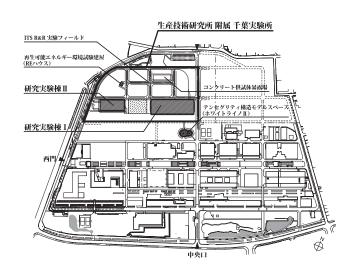
つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅西口ロータリーから、

約10分間隔で無料シャトルバスを運行しますのでご利用下さい。

※柏の葉キャンパス駅、江戸川台駅、柏駅、流山おおたかの森駅より 東武バスがでています(有料)



# キャンパスマップ



### 【お問合せ先】

東京大学生産技術研究所附属千葉実験所事務室 電話 04-7136-6971 〒277-8574 千葉県柏市柏の葉 5-1-5

# 公 開 案 内

平成 29年10月27日(金) 28日(土) 10時~16時30分



東京大学生産技術研究所附属千葉実験所

#### 東京大学生産技術研究所附属千葉実験所概要

#### 生産技術研究所とは

生産技術研究所(生研)は、昭和24年に現在の千葉市稲毛区弥生町に設立され、当初から工学のほぼ全領域にわたり、産学連携を強力に推進し、産業のイノベーションに貢献してきました。生研誕生の千葉市稲毛区は「産学連携発祥の地」です。昭和30年には「日本の宇宙開発の父」とよばれる糸川英夫教授の呼びかけで、生研内に、航空工学、電子工学、空気力学、飛行力学などさまざまな分野の研究者が集まり、本格的に日本のロケット研究がスタートしました。世界の最先端を担う日本の宇宙科学の基盤が築かれた研究所でもあります。

#### 研究所本体は駒場へ、千葉実験所は柏へ

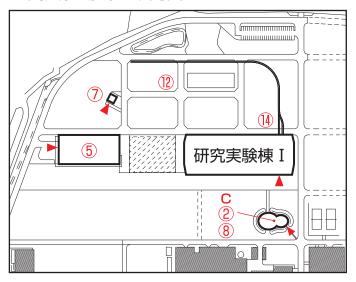
研究所本体は昭和37年に六本木へ、平成13年には駒場キャンパスへと移転しましたが、都心のキャンパスでは実施が難しい大規模な実験的研究やフィールドテストのための大型実験設備を含む施設は、附属の千葉実験所としてそのまま残り、生研の幅広い研究活動を特徴づけています。そして、千葉実験所は、平成29年に本学のキャンパス計画の一環として生研設立の地である西千葉地区から柏キャンパスへ機能移転し、新しい地で更なる発展にむけての活動を開始しました。

現在では、大型の水槽設備を用いた海洋工学研究、大型振動台を用いた耐震関連研究、テンセグリティ構造建築および地中熱や太陽熱を利用するヒートポンプシステムに関する実証研究、ITS(高度道路交通システム)に関するフィールド実験などの様々な大規模実験を推進しており、柏キャンパスに機能移転してからは、航空機の製造技術の高度化や地球規模の水循環に関する研究も千葉実験所の主要な活動として加わっています。

講演会	場所
[特別講演会] 「千葉実験所の特色ある実験施設とフィールドの活用」 須田 義大 千葉実験所長 10月27日(金) 13:00~14:00	а
[自主講演会] 「物性物理学のフロンティア」 羽田野 直道 准教授 10月27日(金) 14:00~16:00 10月28日(土) 13:00~15:00	b

公 開 テ ー マ	担当研究室	場所
ポスター展示: 公開内容の概要展示 参加型展示: 願いと実りのイチョウ 一 千葉実験所案内	_	С
地震と津波による建物の破壊過程を追う	中埜	1
次世代ホログラム技術・高度ホログラムの応用	志村	2
ファン騒音に関する研究	加藤(千)	3
大圧下熱間圧延による金属材料の創製	柳本	4
海を観る・利活用する	巻·林·浅田· ソ <del>ー</del> ントン・ 北澤	(5)
金属資源循環のための新精錬技術の開発	前田	6
地中熱や太陽熱を冷暖房給湯に利用する ヒートポンプシステム	加藤(信)· 大岡・菊本	7
実大テンセグリティ構造の建設と観測	川口(健)· 今井	8
世界中の洪水を予測する	芳村	9
杜~木材の利点を再認識し、可能性を考える	腰原	10
次世代モビリティの社会実装に向けて	ITSセンター	
○ドライビングシミュレータの試乗	須田·大口·	1
○自動運転バスの試乗	中野·大石·	12
○東京メトロの車両の展示	坂井·坂本·	13)
○軌道走行車両の試乗	小野	14)

## 公開実施場所 案内図



## 研究実験棟 I 案内図

